

会議録（概要）

会 議 名 称	令和7年度 第1回愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会
開 催 日 時	令和7年7月31日（木） 午前10時から午前11時40分まで
開 催 場 所	愛西市役所 南館1階 会議室1 - 3、1 - 4
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	水野恵介委員、加藤大典委員、佐藤善昭委員
公開・非公開	公開
傍聴人の数	0人
審 議 事 項 等	●審議事項 次期愛西市総合戦略について ●その他
会 議 資 料	・次第 ・委員名簿 ・会場配席図 ・愛西市の人口 ・まち・ひと・しごと創生総合戦略（本冊） ・資料1 重点プロジェクト案 ・資料2 第2次愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況 ・資料3 令和7年度第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会審議内容
審 議 経 過	別紙のとおり
議 事 録 の 確 定	
確 定 年 月 日	署 名
令和7年8月26日	署名委員 平 井 直 人

愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員

役 職	氏 名	備 考
会 長	千頭 聡	
副 会 長	加藤 洋平	
	川上 哲広	
	和田 朋幸	
	出口 さとみ	
	安田 清時	
	水野 善弘	
	加藤 憲治	
	平井 直人	
	水野 恵介	欠 席
	加藤 大典	欠 席
	大園 一麿	
	小島 竹志	
	水野 秀俊	
	米澤 正	
	佐藤 善昭	欠 席
	渡邊 康子	
	土赤 摂津子	
	恒藤 貴哉	
	横井 敏彦	
	神田 善郎	

職務のために出席した職員

役 職	氏 名	備 考
市 長	日永 貴章	
副 市 長	清水 栄利子	
市民課長	橋本 創	
シティプロモーション課長	伊藤 義幸	
財政課長	堀田 毅	
総務課長	伊藤 靖幸	
健康推進課長	猪飼 政和	
子育て支援課長	前野 輝次	
産業振興課長	清水 直樹	
都市計画課長	佐藤 政樹	
企業誘致課長	藤澤 寿章	
市民協働課長	石原 優雅	
危機管理課長	山田 正光	
学校教育課長	伊藤 光	
生涯学習スポーツ課長	青木 万亀雄	
社会福祉課長	水野 裕公	
発達支援センター長	渡邊 志保	

事務局

役 職	氏 名	備 考
企画政策部長	西川 稔	
企画政策部参事	大森 知孝	
企画政策部経営企画課長	渡邊 典夫	
企画政策部経営企画課課長補佐	若松 孝志	
企画政策部経営企画課主事	富田 智美	

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
事務局	開会 資料の確認 会議の公開と傍聴について〔愛西市審議会等の会議公開に関する要綱第3条〕 会議録の作成〔愛西市審議会等の会議公開に関する要綱第11条〕
会 長	1. あいさつ ＜会長あいさつ＞
市 長	＜市長あいさつ＞
会 長	2. 会議録署名委員の指名 ＜議事録署名委員として平井直人委員を指名＞
事務局	3. 議題 次期愛西市総合戦略について ＜資料1～資料3、愛西市の人口について 事務局より説明＞
会 長	次期総合戦略では、引き続き4つの目標を維持しながら、施策を積極的に取り組んでいくと説明いただきました。資料1の4ページ以降にそれぞれの4つの目標に対して、どんな指標でどんな施策をとっていくのか記載してあります。もっと力を入れるべき点があれば、ご意見をいただきたいと思います。 全体的な話では、総合戦略と総合計画の関係性の説明をしていただきました。総合計画は少し長いスパンで10年後くらいを見越しながら行政の施策全体を束ね、総合戦略は毎年事業を見直しながら進めていくと理解しています。 全体的なところで何か質問等がありますか。
委 員	説明の中にありました重点プロジェクトと、資料3の12ページにあります重点プロジェクトイメージの相関関係は何ですか。
事務局	現在の総合計画の中には重点プロジェクトが8つあり、こちらを次期総合戦略に置き換えた場合でも、今までの重点プロジェクトの視点を補完していることを示しています。
委 員	行政の運営は、収入を図って出金を制するが、基本であると思います。合計特殊出生率を上げるには子どもを産む年齢の方が多くいればいいわけです。結婚した時に奥さんが地元になれば、そこに旦那さんが来て

会 長	住むと思います。その地で子どもが生まれると、合計特殊出生率は上がります。そこで、女性が住みやすく定住できるための戸建て住宅への補助や子どもに手厚く大学まで無償化とか思い切ったことをすれば良いと思っています。 もう一つ、収入を図るには産業創成が必要です。ベンチャーを身近なところで立ち上げしやすくするために、女性や少人数でも創業しやすくしたら良いと思います。所得税の底上げを行うためにも産業創成に力を入れていただきたいです。 大きくは、2点ご指摘をいただきました。女性が定住すれば出生率が上がるのではないかと。ベンチャーなどの創業支援もいいのではないかと。いうことでした。 それでは、詳細に入っていきます。資料1の4ページ、「【働いてみた愛まち】活力あふれる産業とチャレンジできる環境」の取組内容についてご意見がありましたらお願いします。
委 員	米を作っている農家の年齢が高齢化し、働き手がいらないため、委託して米を作っている現状です。ここ数年で米を作る農家がなくなることを懸念しています。農業政策の経営戦略における経営資源に対して市として現状の支援や今後の取組をお聞きしたいです。
職 員	愛西市では、新規就農者に対して補助金を出しています。国からも経営準備資金が出ています。そちらを活用して新規に就農される方がいらっしゃいますので、今後も農業は続いていくのではないかと考えています。
会 長	レンコン農家への新規就農が数名いらっしゃいますし、実は、国も農地の流動化や中核農家への集約など多くの支援体制を整備しています。しかし、ご指摘のとおり米農家は今後大変になるかもしれません。
委 員	誰が米を作るのかが一番大きな問題です。多角化経営の方法もありますが、実際に行おうとすれば採算が合うのか不明瞭です。稲作の難しいところは一年で1回しか収穫ができないので、生産性が非常に低い状況です。限られた雇用の中で、労働者をどのように使って生産性を上げるのか。それを多角化経営でやっていくとなると、機械化やA I の活用などが考えられますが、愛西市はそこまで技術が進んでいないと思います。今現実委託を受けて米を作っている事業者が、米の生産を辞めてしまえば、米農家もなくなってしまう状況が発生してしまいます。そういった状況に対しての切実性を持っていらっしゃるのか、非常に懸念しています。

会 長	これは、愛西市だけではなく、日本中の問題であります。県としても問題意識を持って様々な取組をしていると思います。
委 員	米はかなり高度な手法で生産されています。しかし、愛西市では、水田区画が受託農家の導入している機械に対応していないところが多いです。南部の市町は愛西市と比べて一区画の田んぼの面積がかなり広いので、それに対応した大型機械の導入、それからドローンを使った肥料や農薬散布が可能になっています。そのため、10アールあたりに投資する時間が愛西市に比べるとかなり短いです。 また、愛西市は合併前の旧町村単位で区画の特徴が少しずつ異なり、田んぼに入る道路の状況も微妙に違っています。これらの市外南部の受託農家と愛西市の受託農家の対応の違いが、生産性の違いに表れてくると考えています。 海部地域全体の農家の担い手の年齢は、40代50代と若く、近々に米農家がいなくなることは心配していません。ただし、受託農家と地権者との契約状況などの細かい部分が影響し、耕作放棄地になってしまうことを危惧しています。
会 長	資料1の4ページに農家の担い手確保や農地バンク事業の記載があり、その辺りを市としても力を入れていくようです。
委 員	企業収益による財政収入を増やし、まちづくり施策に充当するためには、産業施策が必要不可欠だと考えています。農業振興以外にも目を向ける必要があると思っている一方、企業誘致が難しいことも承知しています。産業振興の観点から、愛西市内の企業からの相談はありますか。
職 員	市が直接事業主から相談を聞くことはありませんが、商工会を通じて後継者不足になっていることは聞いております。
委 員	商工会の中では、事業を継がせないという会員が半数以上います。国関係、銀行関係などと後継者をマッチングできるよう取り組んでおり、商工会に相談をいただくと国の支援機関を紹介して、相談者、商工会、国の紹介機関の三者で話をすることがあります。国の機関からは、相談件数は増えてきており、ここ2、3年は倍増していると聞いております。 もう一つ、事業の分野を広げたいが、ゼロから始めるのではなくて、運送業の社員を派遣して、そこの店長として店を開きたいなど企業から相談があります。ただし、愛西市では相談以降なかなか事業が進まないのが現状です。社会情勢が見通せないこともあり、先延ばしにする、諦めるかを判断されています。
委 員	業種開拓や、新しいビジネスモデルを事業者がどう開拓していくのか

会 長	が重要であると感じました。市内に拠点を置く事業者を対象に稼ぐ力を生んでいくための、新しいビジネスモデルの開発を支援するなど、デジタル技術という話もありましたので、DXによって企業競争力を高めていくコンサルティング支援を盛り込んでいくことが重要な視点であると感じました。 資料1の5ページ、「【行ってみた愛まち】地域の魅力を共有し、賑わいを共感する」では、観光やふるさと応援寄附金が挙がっていますがいかがでしょうか。
委 員	全国的に観光事業で注目を浴びているのが外国人の招致で、成功しているところは外国人観光客が非常に多く来ています。SNSをうまく活用して、何か1つ魅力を発信することで外国人を集客している自治体が多いと思います。レンコンを1つの武器として活用できるのではないかと考えます。観光客を増やすために、ターゲット層を定めて目標管理をしていますか。
職 員	レンコンは全国有数の産地で、愛西市の特産品の1つであります。ふるさと納税返礼品のラインナップにも登録しており、InstagramなどのSNSで市の観光資源、特産品をPRしています。ターゲット層を特に絞っているわけではありませんが、レンコンに限らず昨年度からイチゴを返礼品に追加するなど、愛西市の農産物全般を取り入れながら進めています。
委 員	工事中のHASUパークが完成すれば観光拠点にしたいと思っています。例年7月に開催していた蓮見の会は愛西市の目玉であるのでHASUパークの完成に合わせて行事を企画したいと思っています。 また、観光協会が設立して15年目になりますが、佐屋地区と佐織地区の行事、観光事業に対する理解がお互いに少し薄いと感じていますので、PRを進めていきたいです。 新しい観光事業も開発していく必要があります。最近、立田地区に天然記念物のコウノトリが飛来しています。コウノトリの見守り隊を結成し、クラウドファンディングなどで資金を募集できるとしています。 6月には、名鉄藤浪駅前広場で「地酒で乾杯愛マルシェ」を開催し、非常に多くの人に来ていただきました。このように民間との協賛事業も期待しています。
会 長	観光は広域の連携が必要であり、重点プロジェクトに記載できればと思います。 資料1の6ページ、7ページ、「【子育てしてみた愛まち】若い世代・子育て世代に選ばれる」は、いかがですか。

委 員	30代前半の子育て世代は、どういう判断基準で住む場所を決めているのでしょうか。あま市、清須市、一宮市、稲沢市は競合になっているのではないかと考えています。 子育てする場所には大きくポイントが二つあります。一つ目が祖父母の近くに住み、いかに家事負担を軽減させるかです。二つ目が充実した図書館が近くにあることです。 一つ目の家事負担を減らすことについては、共働きが増えていますので、祖父母に家事や子どもの送迎を助けてもらえるとありがたいと思います。立田地区の一部では、祖父母の近くに家を建てる世帯が多いので、この動きを加速できたら良いと思います。これらは子育て支援だけでなく高齢者の見守りや公共福祉を両立する施策も必要になります。 二つ目の図書館の充実については、図書館は子どもの遊び場にもなり、ニーズが高く、親自身も本を読んで楽しみながら子育てができます。子育ての場所を選ぶには重要な要素になると思っています。
会 長	三世代同居ではなくて近居ですね。図書館について何かありますか。
職 員	現在、愛西市には中央図書館と佐織公民館にあります佐織図書館があります。中央図書館は指定管理者制度により民間の力をお借りしています。佐織図書館は委託事業として市で運営しています。コロナ禍で利用者数は激減しており、今も以前のような利用者数には戻っていません。しかし、新たな取組として、巡回して図書を利用していただく事業や、子どもに読み聞かせなどの事業を進めることによって、読書への関心を促す業務を進めています。
会 長	全国的に図書館は、本の貸出し以外にオープンスペースとして大胆な改革を行っています。
委 員	私の若い頃は、夏はプールと決まっていたと思います。全国的にプールの運営は難しくなっているようですが、愛西市のプールはどうですか。
会 長	プールがあることが、子育て世代が愛西市に住む理由になると思われるということですね。
市 長	愛西市に公営プールはございません。以前、佐織町や佐屋町が整備していたプールがありましたが、最後まで残っていた佐屋町プールも老朽化で取り壊しました。今は佐屋小学校のプールを夏休みの一定期間、利用できるようにしていますが、学校のプールも暑すぎて利用が難しい状況です。

会 長	4つ目の「【住み続けてみた愛まち】誰もが便利で安心・安心」は、いかがですか。
委 員	最近、広報あいさいがリニューアルされて見やすくなりましたが、コミュニティ活動やお祭り、イベントの記事が増えてきていると感じます。読んでいる方が多く、市民が読む記事をチョイスすれば良いと思うので、もっと記事を増やしていただきたいです。 また、駅周辺を中心としたまちづくりに取り組んでほしいと感じています。愛西市は、名鉄以外に近鉄とJRが走っています。近鉄では、富吉駅が愛西市と蟹江町の境にあります。佐古木駅が愛西市から少し離れていますが弥富市にあり、そこから通勤されている方もいます。もう一つ、弥富市に近鉄と名鉄の弥富駅がありますが、アクセスが非常に悪いです。弥富駅はJRもあるので高架を繋ぐくらいの開発を決断していただきたいです。弥富駅を近鉄、名鉄、JRで繋ぐと非常に利便性が高まり、定住者が増えると思います。 また、道の駅、農産物の直売所のような交流人口を増やせる場所を設置してほしいです。
職 員	広報については、限られたページの中で市民の知りたい情報と市が伝えたい情報を担当課と協議をしています。より詳細については二次元コードを使ってご覧いただけるよう工夫しています。
委 員	安全・安心という観点で外国人労働者や在住者について、確認をしたいと思います。愛西市では外国人人口が増えてきているという指標がございました。これからも増え続けるとは思いますが、言葉の壁がありますので外国人とのコミュニケーションがとれる場や日本語教育が充実していますか。
会 長	誰もが便利で安全・安心のところに、多文化共生が大切であるというご指摘です。
事務局	愛西市では、日本語教室の「おしゃべり ひろば」をボランティアの方に協力をいただいて、月3回愛西市文化会館で自由に参加していただけるよう開催しています。コロナ禍での開催はできませんでしたが、ボランティアの方に力を入れていただき、近隣会社などの外国人で日本語に興味がある方に参加していただけるようにしています。
委 員	住んでいる人も安全・安心で、転入する外国人も安全・安心に暮らせることは非常に重要です。特に子どもの教育において、言葉が原因でコミュニケーションが取りづらい、取れない事態をなくしていただきたいです。

会 長	8 ページにその視点を入れておいた方が、良いのではないかとご指摘です。ご検討ください。 全体を通じてどうでしょうか。
副会長	「行ってみた愛まち」のところで、下の評価項目で「広域でのイベント参加数★」の広域が何を指しているのかよく分からないのでお聞きします。
職 員	広域のイベントで、道の駅などの観光資源を活用しまして、他の市町村と資源を持ち寄って取り組みたいと思っています。
副会長	他の項目は明確で、これだけが抽象的であるので評価項目としてはどうかと疑問を持ちました。
会 長	予算を掛ければイベントはたくさんできて、予算がなければイベントは少なくなります。ご指摘を踏まえるのであれば、イベントを行ったことによって何か生まれたかという部分が指標になれば良いと思います。少なくとも参加人数は押さえておくべきです。
委 員	HASUパークがリニューアルし、商品の販路が拡大したので非常にありがたいとの声を聞いています。自ら販路を拡大するのは難しく、多くの事業者にとってインパクトのある施策であったと思っています。 評価項目で販路拡大した事業者数をKPIとして設定できるのではないですか。HASUパークに出品した人を実績値として用いることができますし、道の駅の投資効果の有効性を示すことができる数値にもなると思います。
会 長	一つ気になるところで、取組方針が大きく記載されているところとすごく具体的に記載されているところがありますが、戦略なのでできるだけ具体的に何をするのを記載したほうが良いと思います。 今日が最終決定でないので、お気付きの点があれば1週間ぐらいの期限を決めてご意見をいただくこととします。
委 員	6 ページの魅力的な住環境の創出のところに都市公園の整備があります。子どもたちが安心して遊べる公園で、愛西市は水路が多く水環境が大事だと思います。親水公園の中にビオトープがあり、子どもたちが観察会を行っています。折角なので中に入れるようにビオトープを整備してもらえると子どもたちが自然に親しめる場所になると思います。
会 長	他によろしいでしょうか。

会 長	4. その他 その他事務局から何かありますか。
事務局	<今後のスケジュールについて説明>
市 長	活発なご意見、ご提案いただきありがとうございました。 駅周辺整備の意見をいただきました。愛西市はほとんどが市街化調整区域で、その区域に8つの駅があります。駅周辺も市街化調整区域であり、事業を進めていこうとすると非常に難しい法的な制限があります。今回、4つの駅を優先的に開発の検討をしていくと打ち出しています。しかし、4つの駅全てに着手することは今後の皆さま方のご協力や、鉄道事業者の整備についての意向が大事です。地権者や地域の方々の協力がなければ、駅前開発は難しいので、皆様方より協力をいただきたいと思います。 ビオトープも良い提案をいただけるとありがたいと思います。 HASUパークに関するご意見をいただきましたが、情報発信についても皆様方からご提案がいただけると良いと思います。 人口減少を止めるのは難しくできるだけ維持をしなければならないので、交流人口を増やしながら愛西市の応援団となっていただく方を一人でも増やしたいと考えています。
会 長	それでは、本日は、これをもちまして閉会とします。 閉会